



YAMANASHI

山梨政策評議会  
ふるさと強靱化部会

資料1

# 県政概況報告

山梨県

令和8年1月30日

## 本県の目指すべき姿

# 『県民一人ひとりが豊かさを実感できるやまなし』

## 取組の2本柱

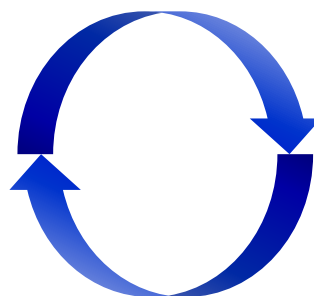
### ① ふるさとの強靱化

(県民の生活をあらゆる外的衝撃から守り抜く)

県民生活の強靱化

経済基盤の強靱化

防災対策



外からの風に強く、かつ外へと開かれた  
「豊かさの循環拠点」へ

### ② 『開の国』づくり

(多彩で豊かな選択肢の提供)

共生社会化

挑戦への支援

高付加価値化

# 県民所得の着実な向上 に向けた3本柱

大きな波にも揺るがない確かな生活基盤を築くため、県民所得の着実な向上が必要です  
県は3本柱の施策を進め、所得向上の実現に向け先頭に立ちます

## 01 賃金水準の持続的引き上げ

頑張れば報われるが  
当たり前の社会に

- ✓最低賃金を含めた賃金水準全体の引き上げ
- ✓スリーアップ好循環の加速



## 02 生産性の向上

企業が自ら賃上げの原資  
を生み出す力を高める

- ✓キャリアアップ・ユニバーシティによるスキルアップ
- ✓DX、設備投資の支援
- ✓実情に寄り添った経営指導



## 03 労働参加率の向上

生産年齢人口の減少を補い  
県全体の稼ぐ力を底上げ

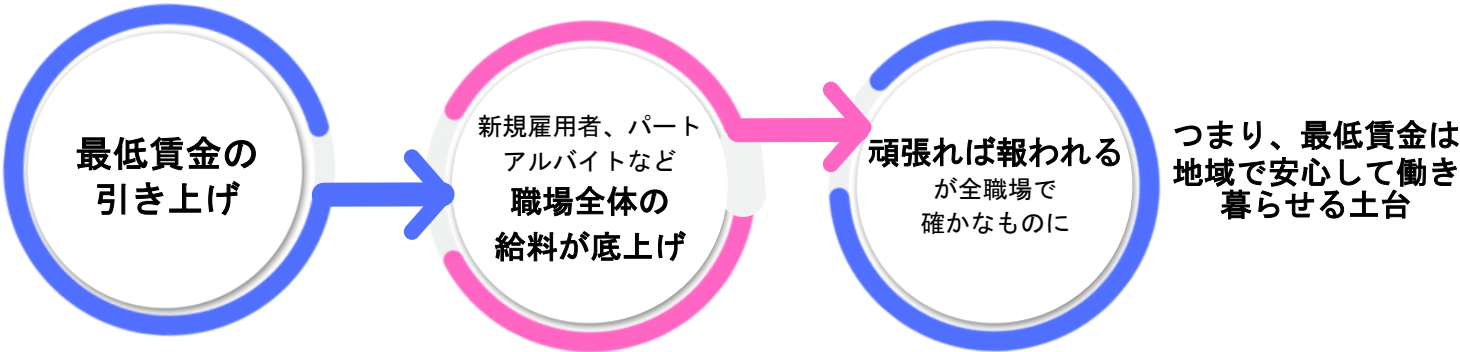
- ✓ケアラー支援
- ✓困難な状況にある方の就労支援



人への投資、産業基盤の強化を一層加速させ、  
一人ひとりの稼ぐ力を底上げする中長期的戦略を実行します

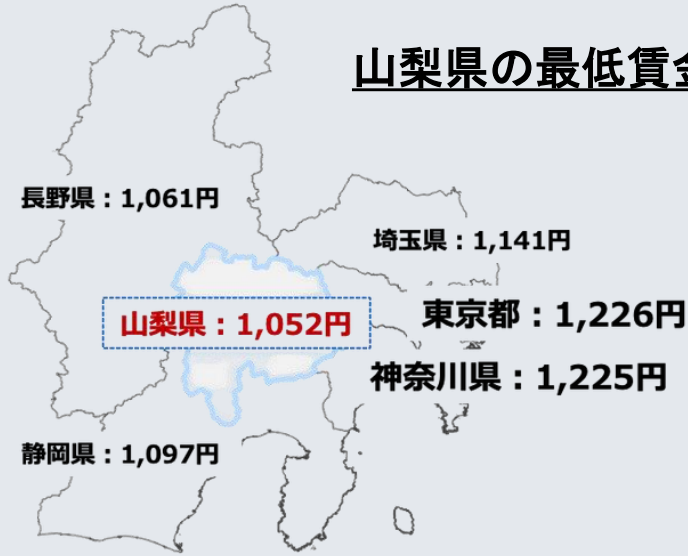
# 最低賃金引き上げの意義

最低賃金は、給料アップの好循環を生み出す最初の歯車です

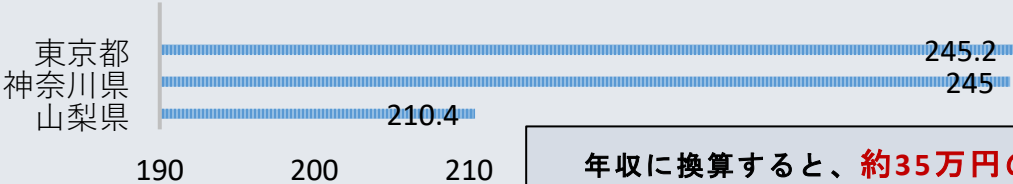


しかし

山梨県の最低賃金は、近隣都県と大きな格差があります



※金額は令和7年度改定後



年収に換算すると、約35万円の差

このままでは.....



地域経済全体の停滞を招いてしまいます



# 最低賃金は上げられないのか

最低賃金アップを巡って、経営者の皆さんは3つの懸念を抱いています

01

人件費を支払えず  
雇用が減る

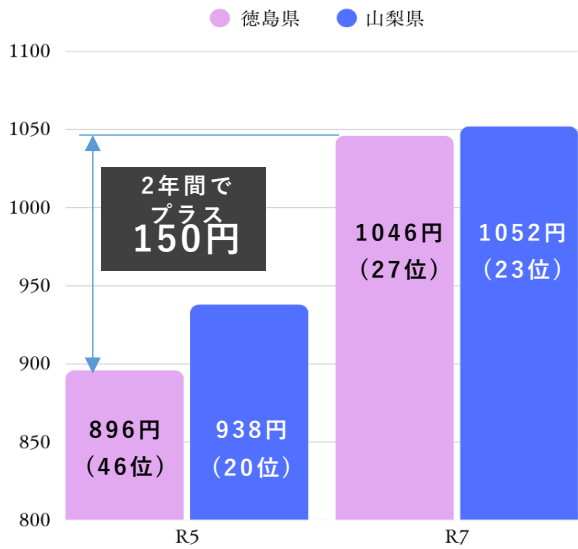
02

経営が悪化し  
倒産する

03

障害者や高齢者の  
雇用機会が  
奪われるのでは？

こうした中、徳島県は最低賃金の決定に積極的に関わり**大幅アップを実現**しました



150円増額は、引き上げ額・増加率ともに全国1位  
※特にR6最低賃金は目安額（50円）を**34円上回る**84円の大幅増

最低賃金の引き上げの影響で、  
徳島県内は賃金アップが相次ぐなどして.....

徳島県の実質賃金は  
R6年8月からR7年6月まで  
**11ヶ月連続でプラス**になりました  
(山梨県はほぼマイナスで推移)



# 最低賃金アップの影響と山梨県の対策

3つの懸念に対し、徳島県ではどのような影響があったのでしょうか

## 01 人件費が支払えず 雇用が減る

徳島県の有効求人倍率は  
1以上(求人数 > 求職者数)を維持



経営者

人がいないと事業が回らない。  
今は生産性を上げる  
努力をしています

## 02 経営が悪化し 倒産する

民間調査会社のデータで  
倒産の急増は見られず



経営者

取引先も最低賃金アップを  
知っているので  
価格転嫁交渉が楽になりました

## 03 障害者や高齢者の 雇用機会が奪われる

若者に好評。外国人材の流出  
防止、障害者・高齢者の  
所得向上に寄与



学生

手取り額が増えました！  
欲しかったものが買える！

山梨県は、最低賃金アップに向けて積極的に関わっていきます  
あわせて各企業が賃上げ環境を整備できるよう、**豊富な支援策を実施**します

設備投資への  
支援

専門人材活用  
への支援

人材育成への  
支援

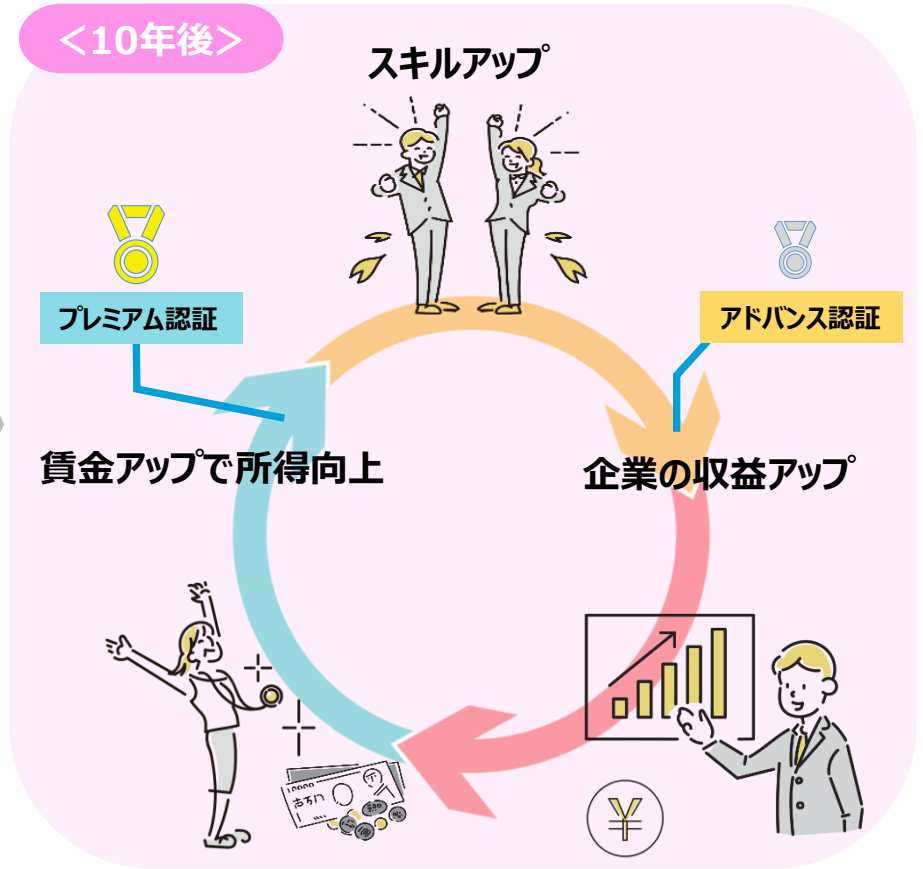
市場開拓等  
新たなチャレンジ  
への支援

この他にも、経済団体と連携して**価格転嫁**にも取り組んでいきます

# スリーアップの好循環の加速

10年後

スリーアップの好循環が実現し、“努力すれば報われる”社会へ



- ＜主な取り組み＞
- ・キャリアアップユニバーシティの運営
  - ・スリーアップ実践企業の認証制度(アドバンス・プレミアム)の創設





# やまなしキャリアアップ・ユニバーシティの取り組み

### 1 経営戦略・マネジメント系

#### 次の経営を担う人材を育てる！ 戦略思考×実践力 養成講座

■経営戦略や役員候補の管理職を対象に自社の経営戦略を再構築し、実践する力を養成します。  
■経営戦略や経営マインドの意識や知識を習得と自社の経営戦略の体系化をします。

**全6回**  
8/20(水)～

**主な対象**  
次期役員候補者の管理職  
今後後継者を担う人材

**講師情報**  
グロービス大学院経営戦略講師  
NTT DX(パートナー)代表取締役  
長谷川 隆

会場：NTT東日本甲府ビル(山梨県甲府市中区2丁目12-1) 受講料22,000円(税込)

### 2 経営戦略・マネジメント系

#### チーム(組織)を前向きに導く！ ネクスリーダー養成講座

■新任～任用3年未満のリーダー・管理職へ、令和時代求められるリーダーシップスキルを実践で学びます。  
■新入社員の人材力の向上を支援し、管理職として「部下」のように自身を鍛えることができることを体験・定着。

**全3回**  
12/17(水)～

**主な対象**  
新任～任用3年未満の管理職  
ネクスリーダー

**講師情報**  
株式会社イマジナ 代表取締役  
前山 聡明  
栗田 浩二

会場：甲府商工会議所5階会議室(山梨県甲府市相生3丁目7) 受講料22,000円(税込)

### 3 デジタル・生成AI系

#### 業務改善の基本から、ツール活用・実践まで！ ゼロから学ぶ実践講座

■DXの実践に向けて、目的の達成した経験を効率化・削減する手法であるBPRを習得します。  
■BPRの実践に向けて、計画の策定から、デジタルツールを試行導入までフォロー。  
■定常業務の稼働を削減する方法を体験します。

**全7回**  
7/18(金)～

**主な対象**  
管理職  
実際に業務改善を行うリーダー層  
業務改善やしたい方が多い方を含む人

**講師情報**  
株式会社NTT DX(パートナー)  
R5年度DX実践講師 講師  
シニアコンサルタント 加藤 聡

会場：NTT東日本甲府ビル(山梨県甲府市中区2丁目12-1) 受講料22,000円(税込)

### 4 業種特化系

#### IoTを活用した 生産設備効率化を目指す実践講座

■本講座はIoTシステムを構築しながら技術習得を目指す実践型(自分自身で動かす)講座です。  
■構築するIoTシステムは、これまで20社以上の県内企業に導入され、生産現場におけるさまざまな問題解決に貢献しています。

**全12回**  
6/17(火)～

**主な対象**  
生産現場の改善に取り組み中、または、これから改善に取り組む技術者

**講師情報**  
山梨県立産業技術短期大学校  
電子技術科 技術士 永田 清貴

会場：産業技術短期大学校山梨キャンパス(山梨県山梨市) 受講料22,000円(税込)

### 5 デジタル・生成AI系

#### ChatGPT実践講座

■ChatGPTに特化した、CUオリジナル講座。  
■初心者向けにプログラミング方法～よくある使い方～を伝授。  
■山梨県内の企業で「実際に業務で活用している事例」を踏まえて、自社の実践を目指す。

**全2回**  
3日  
8/7(火)～  
8/10(金)～  
9/30(金)～

**主な対象**  
生成AIに関心がある人  
熱心な方～と意識感がある人

**講師情報**  
NTT DX(パートナー)  
R6年度CU生成AI講座 講師陣

会場：NTT東日本甲府ビル(山梨県甲府市中区2丁目12-1) 受講料11,000円(税込)

### 6 デジタル・生成AI系

#### DX入門講座 ～いまさら聞けないDXってなに？～

■企業がなぜDXを推進しなければならないのか、その背景や理由を実践から学びます。  
■「DX推進に必要な思考・基本的な考え方」を座学＋ワークショップ形式の構成で知識を習得します。  
■DX推進を仕えている人  
DX推進を少しでも効率化したい人

**全1回**  
2日  
8/7(火)～  
8/10(金)～

**講師情報**  
NTT DX(パートナー)  
R6年度CU生成AI講座 講師陣

会場：NTT東日本甲府ビル(山梨県甲府市中区2丁目12-1) 受講料5,500円(税込)

### 7 業種特化系

#### 製造業向け事業戦略策定講座 ～生産設備を抱える製造業に特化した事業戦略策定～

■近年の製造業の傾向(ものづくしの転換と実需を促す)の理解、理屈の製造業の実践方法を学びます。  
■自社の強み、弱みを整理、アンプの方向性ペクトル、SWOT分析をベースとした自社理解を習得します。

**全5回**  
日程調整中

**主な対象**  
中小製造業の経営者、管理職

**講師情報**  
調整中

会場：調整中 受講料22,000円(税込)

### 8 業種特化系

#### 観光経営人材育成講座 ～観光業・宿泊業が学ぶべき自社ブランディング、地域活性化手法を学ぶ～

■宿泊施設や店舗など、受講生が保有している「アセット・資産」の価値をブランディングします。  
■「ブランディング」を行うにあたって「マーケティング」や「自社・市場分析」の方法・知見を学びます。

**日程調整中**

**主な対象**  
観光業(観光・ホテル・サービス)に関与する企業(経営者・役員)

**講師情報**  
山梨県観光文化振興課 監修  
調整中

会場：調整中 受講料22,000円(税込)

### 9 対話・コミュニケーション系

#### 現場で「すぐ実践出来る」 生きたコミュニケーション講座

■コミュニケーションに悩むすべてのビジネスパーソンに、具体的なコミュニケーションスキルを提供します。  
■職場外と知らない笑顔・挨拶・応酬の仕方といった基礎スキルの提供から、実践フォローまで行います。

**全5回**  
7/3(水)～

**主な対象**  
経営者～管理職～一般社員  
特に「現場」に限定無し

**講師情報**  
中小企業診断士、経営コンサルタント  
R5年度CUコミュニケーション講座講師  
栗田 浩二

会場：NTT東日本甲府ビル(山梨県甲府市中区2丁目12-1) 受講料22,000円(税込)



## やまなしキャリアアップ・ユニバーシティ

詳細は特設HPをご確認ください

### 1 デザイン・広報系

#### ビジネスを成長させるデザイン戦略講座 ～事業・商品企画に活かすデザイン力～

■日本を代表するデザイナーである山梨県デザインセンター デザイン・チームから、「事業・商品企画」に活かすデザイン戦略を学びます。プロからデザインを学ぶための「デザイン」を学び、事業成長につなげます。

**全4回**  
9月～11月  
日程調整中

**主な対象**  
自社サービスを持ち、開発・企画等に携わる人  
経営者・管理職・実務・リーダー層向け  
(toC/toBは問いません)

**講師情報**  
山梨県デザインセンター  
永井 一史 林 千晶 その他

会場：調整中(甲府市内) 受講料22,000円(税込)

### 2 デザイン・広報系

#### 広報・マーケティングの情報発信 に必要なスキルを学ぶ実践講座

■広報・マーケティングの情報発信に携わる実務担当者、が、今日から使える情報発信に関する「実践スキル」を学びます。  
■協力会社へ依頼する際も正しく要望を伝え、意思したアウトプットを得る方法を学びます。

**全3回**  
8/8(金)～

**主な対象**  
情報発信に力がかかる実務担当者  
広報・マーケティング実務者  
UXデザイナー/大場 大樹

**講師情報**  
情報定アイスタジオ  
クリエイティブディレクター 佐野 勝郎  
UXデザイナー/大場 大樹

会場：山梨県内 調整中(甲府市内) 受講料22,000円(税込)

### 3 経営戦略・マネジメント系

#### 経営視点で組織を動かす！ 上級管理職トレーニング講座

■ベテラン管理職～役員等上級管理職向けに部下育成と組織成長の両輪を伸ばすノウハウを学びます。  
■部下の「成長」を促し、その成長を「組織成果」につなげる経営視点でのマネジメント方法を体験。

**全3回**  
12/17(水)～

**主な対象**  
任用10年以上の管理職  
管理職以上の部長・役員(上級管理職)

**講師情報**  
株式会社イマジナ 代表取締役  
前山 聡明  
栗田 浩二

会場：甲府商工会議所5階会議室(山梨県甲府市相生3丁目7) 受講料22,000円(税込)

### 4 対話・コミュニケーション系

#### 部下を育てる コミュニケーション術実践講座

■管理職向けに、部下との具体的なコミュニケーションスキルを提供します。  
■「チーム」の活性化と「コミュニケーション」手法を現場・ロールで学ぶ機会を提供します。

**全5回**  
9/4(木)～

**主な対象**  
実務に部下を持ち、  
コミュニケーションに悩む人  
R5年度CUコミュニケーション講座講師  
栗田 浩二

**講師情報**  
中小企業診断士、経営コンサルタント  
R5年度CUコミュニケーション講座講師  
栗田 浩二

会場：NTT東日本甲府ビル(山梨県甲府市中区2丁目12-1) 受講料22,000円(税込)

### 5 対話・コミュニケーション系

#### 女性管理者向けキャリアデザイン講座 ※山梨県MiraiWest連携講座※女性限定

■女性管理職のキャリアアップ、企業内プロジェクトの実施、企業でのフォロー・体制構築を支援します。  
■女性管理職のキャリアアップ、企業内プロジェクトの実施、企業でのフォロー・体制構築を支援します。

**全6回**  
7/10(水)～

**主な対象**  
女性管理職のキャリアアップを希望する人  
企業に所属する女性管理職

**講師情報**  
(株)株式会社インディードワールド(パートナー)  
リサーチセンター 上田 研太郎  
宇佐川 裕子

会場：山梨県内 調整中(甲府市内) 受講料22,000円(税込)

### 6 デジタル・生成AI系

#### DX認定取得支援 講座

■DXの本質と企業が顧客に提供する価値を理解し、DX認定(経済産業省)の取得に向けたDXに関するビジョンや中期経営計画の策定方法を理解します。  
■DX認定取得に向けた申請方法を受講生や講師と共有しながら習得します。

**全5回**  
12/5(金)～

**主な対象**  
管理職  
実際にDX推進を行うリーダー層  
DX認定取得に向けた申請方法を学びたい人

**講師情報**  
株式会社NTT DX(パートナー)  
R5年度DX実践講師 講師  
シニアコンサルタント 加藤 聡

会場：NTT東日本甲府ビル(山梨県甲府市中区2丁目12-1) 受講料22,000円(税込)

### 7 対話・コミュニケーション系

#### 「若手が現場を変える」チームビルディング1day講座 ～体験から学び、職場をチーム化する若手へ～

■現場リーダー層が、体験を通じてチームの力を引き出し、活性化する方法を学ぶ1日研修です。  
■習得日から職場で実践できるチームビルディングのヒントが満載の講座となっています。

**全1回**  
2日  
8/8(水)～  
8/12(日)～

**主な対象**  
チームビルディングを学ぶリーダー層  
チームの活性化を促したい若手

**講師情報**  
山梨県立大学  
山梨大学教員  
成田 悠久

会場：山梨県内 調整中(甲府市内) 受講料22,000円(税込)

### 8 デジタル・生成AI系

#### ChatGPTアドバンス講座

■ChatGPT実践講座の卒業生/ChatGPTをすでに実践している人向けの、ChatGPTの実務活用や、応用的な使い方を学ぶ、アドバンス講座。  
■生成AI活用者のハンズオン支援を行います。

**全1回**  
9/10(水)

**主な対象**  
ChatGPT実践講座の卒業生  
実際にChatGPTを実務で活用する人

**講師情報**  
株式会社NTT DX(パートナー)  
R5年度やまなしキャリアアップ・ユニバーシティ  
生成AI講座 担当講師  
栗田 浩二

会場：NTT東日本甲府ビル(山梨県甲府市中区2丁目12-1) 受講料11,000円(税込)



02 生産性の向上 **賃上げに向けた中小企業等への支援（2月補正・当初予算）**

経済団体・金融機関のスリーアップ認証やコンサルティング活動から以下の支援事業に展開を図ります

記載事業につきましては、2月県議会上程予定のものとなりますので、取扱に御留意願います。

**設備投資への支援**

**賃金アップ・環境改善促進事業費補助金**

事業場内最低賃金を引き上げた事業者の労働環境改善に資する設備投資等を支援

**省エネ・再エネ設備導入事業費補助金（第7次）**

エネルギーコスト削減に資する省エネ設備等の導入を支援

**新 生産性向上に資する設備整備等支援補助金**

賃上げを行う中小企業等の実態に則した生産性向上に資する設備整備等を支援  
・設備の導入・更新に加え、**改修に要する経費**も補助対象とする  
・経理事務負担軽減のため、**税理士活用や会計ソフト導入**もメニューに加える

**新 補助金の申請代行支援**

公的補助金等の活用を促すため、行政書士等による**申請代行**を支援

**新 賃上げを支える金融支援**

賃上げに踏み出せる環境整備のため、県制度融資「**賃上特例融資**」を新設

**専門人材活用への支援**

**生産性向上等を支援する専門家派遣**

商工団体と連携し、プッシュ型での生産性向上コンサルティングを強化

**物価高騰対応支援の専門家派遣**

賃上げ環境の整備や価格転嫁を推進

**経営革新等支援専門家の派遣**

収益力向上に向けた支援計画に基づき専門家チームが伴走支援を実施

**新 成長産業総合支援センター（仮）の設置運営**

成長分野の支援機能を強化・効率化した総合支援センターを新設

**デジサポ！やまなしの推進**

デジタル技術と企業の課題解決手法を習得した大学生DXリーダーが、商工・経済団体の経営指導員と連携し、若者ならではの感性と発想を活かして中小企業のDX課題を解決

**人材育成への支援**

**キャリアアップ・ユニバーシティ（CUU）の運営**

人材育成・リスキリング支援の拠点として、実践的な学びの場を提供（**随時改善**）

**新 CUUによる人材育成・就労支援**

実務研修を取り入れた**経理人材育成講座**の開設と講座修了後の**就労支援**を実施

**女性デジタル人材育成・就労支援**

女性が抱える実情に寄り添い、女性デジタル人材の育成から就労支援までを実施

**医療機器、水素・燃料電池関連の技術人材の養成**

成長産業分野への参入を促進するため、山梨大学に技術人材養成講座を開設

**DX導入促進・推進人材の育成**

DX導入の伴走支援に加え、定着に向けた人材育成研修や専門人材による相談を実施

**DX先端技術人材の育成**

生成AI等の先端的なデジタル技術研修により、県内ICT企業の競争力強化を支援

**市場開拓等新たなチャレンジへの支援**

**小規模事業者向け新商品開発・販路開拓支援**

小規模事業者の経営計画や経営革新計画に基づく取り組みを支援

**地場産業による新たなチャレンジ支援**

意欲ある地場産業事業者の新たな取り組みへの事前調査、新商品開発等を支援

**中小企業向け経営革新支援**

経営革新サポートにて伴走支援を受ける企業の新分野進出や販路拡大等を支援

**新 成長分野における市場獲得への支援**

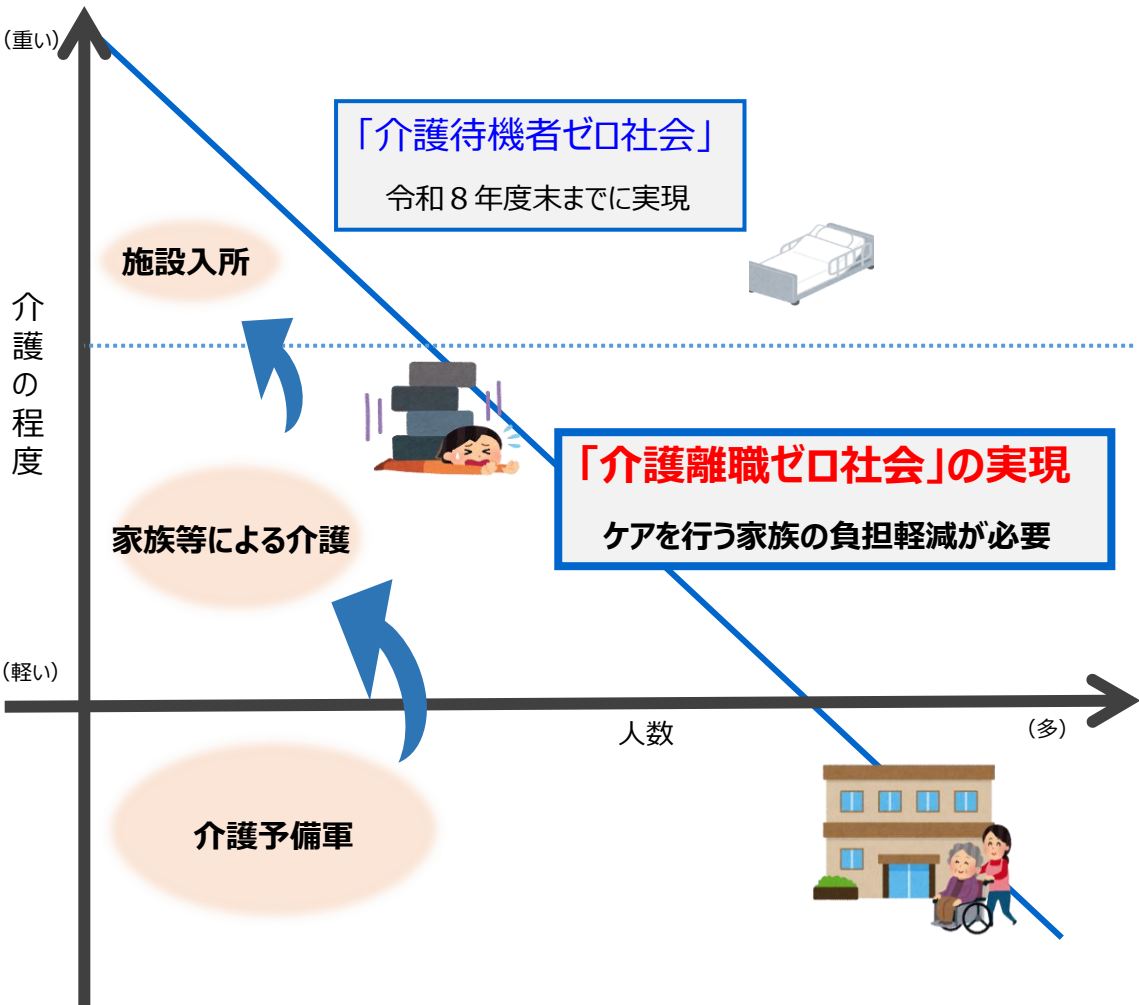
医療機器分野は、世界最大の米国市場に向け、自治体間連携や企業間交流を推進  
水素・燃料電池、航空宇宙防衛関連分野は、取引拡大に向け国内展示会へ県ブースを出展

**新 スタートアップとのビジネスマッチング強化**

新たに国内最大級のオンラインマッチングシステムを導入し、スタートアップのアイデアを活用した県内企業の新事業創出を支援

# 新たなケアラーの支援

- ・ビジネスケアラーは40代後半から急増 → **ベテラン社員の介護離職**が企業経営にダメージ
- ・介護離職増で人手不足に拍車 → **社会全体の生産性低下**（経済損失（全国・2030年）約9兆円の試算も）



問題の所在をあらかじめ察知し、  
先手を打って予防的に対応

まず問題に **【気づき】**  
支援に **【つながぎ】**  
みんなで **【支える】**

R7年5月策定  
**ケアラー支援推進パッケージ**  
(フェーズ1)

「介護待機者ゼロ」から「介護離職ゼロ」へ

◇2025年問題 ⇒ 「介護需要の急増に伴い、望まない介護離職が増加」

- ▶ 人手不足に悩む企業・産業は、知識・経験が蓄積した貴重な働き手を失い、人材確保が難しい中で更なる人手不足に ⇒ 地域経済の停滞のおそれ
- ▶ 自己実現・活躍が阻害されたケアラー当事者は、収入が減少し、長く続く介護に心身ともに疲弊 ⇒ 家庭崩壊、貧困、社会とのつながりの希薄化など負の連鎖のおそれ

ケアラー支援の課題と対策

（考え方）・ケアラー支援は、問題の所在をあらかじめ察知し、先手を打って予防的に対応する取組

- ・今回のパッケージは、実態調査の結果から導かれるニーズに対応した対策で、いわば「フェーズ1」と言うべきもの
- ・まずは問題に「気づいて」支援に「つながり」みんなで「支える」支援の基盤となるべき部分を構築

ケアの問題を家族で抱え、周囲から孤立

気づく

I 社会全体への啓発活動

「ケアラーの存在・支援の重要性」  
を社会全体へ啓発

▶県民への啓発・認知度向上

- ・**新** 支援推進員による対面での支援情報の普及・啓発
- ・支援情報を一元的に掲載したポータルサイトによる普及・啓発
- ・介護の事前知識習得や心構えを促す動画による普及・啓発
- ・様々な広報媒体を最大限活用した普及・啓発
- ・ヤングケアラーの理解を促す普及・啓発

▶企業への啓発・認知度向上

- ・**新** 仕事と介護の両立に関する意識醸成を図るための経営者や管理職向けセミナー等の開催
- ・経済団体等を通じた企業への普及・啓発

▶その他の対応

- ・県及び市町村職員への介護支援制度の普及・啓発

必要な支援との未接続

つながる

II 公的サービスへの接続強化

必要なサポートへの円滑な接続に  
向けた伴走支援体制を構築

▶接続促進・人材養成

- ・**新** 当事者の声を拾い上げ、支援につなげるためのポッドキャスト番組の配信
- ・**新** 不登校児童生徒本人やその家庭を支援機関につなぐ人材（S S W）の増員に向けた研修の実施
- ・ヤングケアラー・コーディネーターの養成等

▶伴走支援体制

- ・**新** 伴走支援体制構築に向けた検討会議の開催

▶その他の対応

- ・認知症の人とその家族を支援する連携体制の構築

負担増による心身の不調

支える

III 公的サービスの更なる充実

様々な境遇にあるケアラーの心身の負担軽減  
が図られるよう、支援サービスを充実

▶相談できる環境整備

- ・**新** 介護支援専門員、保健師等専門職による土日、祝日対応の電話相談窓口を設置
- ・**新** 悩みの共有や情報交換等を行う機会の提供

▶支援機関の連携強化

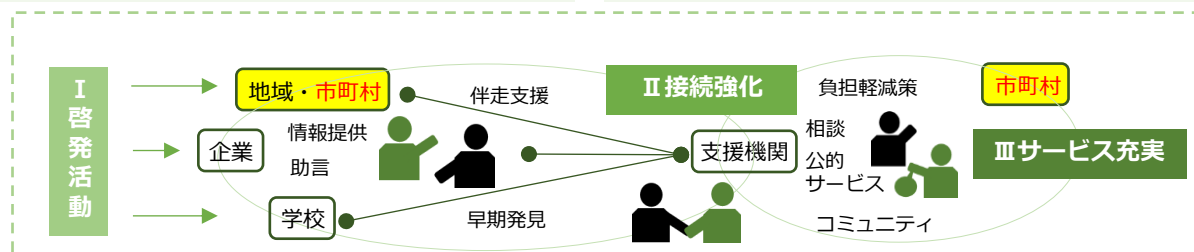
- ・**新** 事例検討会の開催による市町村職員、支援機関職員等のスキルアップと支援機関の連携促進

▶負担軽減策

- ・難病の子ども・家族の療養環境の向上に向けたレスパイト施設の活動支援等

▶その他の対応

- ・認知症、医療的ケア児、障害者、がん患者、難病患者等の家族を支援するための体制整備
- ・妊娠婦の育児不安に対する相談窓口の設置
- ・子育て家庭の育児不安に対する相談窓口の設置
- ・ひとり親家庭の緊急時における支援体制の整備
- ・企業の就業規則や働きやすい職場環境整備支援



# 初期救急医療センターの設置

## R6年5月 山梨大学医学部附属病院で運用開始

### 【背景・課題】

- ・医師の高齢化の進行に伴う初期救急の担い手不足 ⇒ 在宅当番医師の安定的な維持が困難
- ・二次救急病院への軽症患者の流入（半数以上が軽症）⇒ 二次救急病院の過重負担
- ・R6年4月、時間外労働上限規制の適用 ⇒ 病院医師の働き方改革への対応



## 持続可能な初期救急医療の実現に向けた体制の見直し

R3年度：実態調査実施

R4年度：市町村、医療関係者、県による検討会を開催

R5年度：山梨大学医学部附属病院に初期救急医療センターを設置する方向で関係各所と協議

### 山梨大学医学部附属病院初期救急医療センター

#### ◎ 軽症患者を広域的に受入れる拠点を市町村と共同設置

運営開始：令和6年5月17日

開設時間：毎日（365日）18時～23時



⇒初期救急医療体制の安定的な確保

⇒初年度は想定を上回る受診実績（想定：5,000～6,000人 実績：7,630人）



# 少人数教育の推進

## 一人ひとりの児童生徒に対応したきめ細かな指導の充実

令和3年度	小学校1年生	25人学級を導入
令和4年度	小学校2年生	
令和5年度	小学校3年生	
令和6年度	小学校4年生	
令和7年度	小学校5年生	
※令和8年度 小学校6年生に導入予定（小学校全学年で完成見込み）		



子どもたち一人ひとりの可能性を最大限に伸ばすための教育環境を提供

・R7全国学力・学習状況調査では、本県の児童生徒は**主体的に学ぶ姿勢**など複数の項目で全国平均を上回る結果が見られる

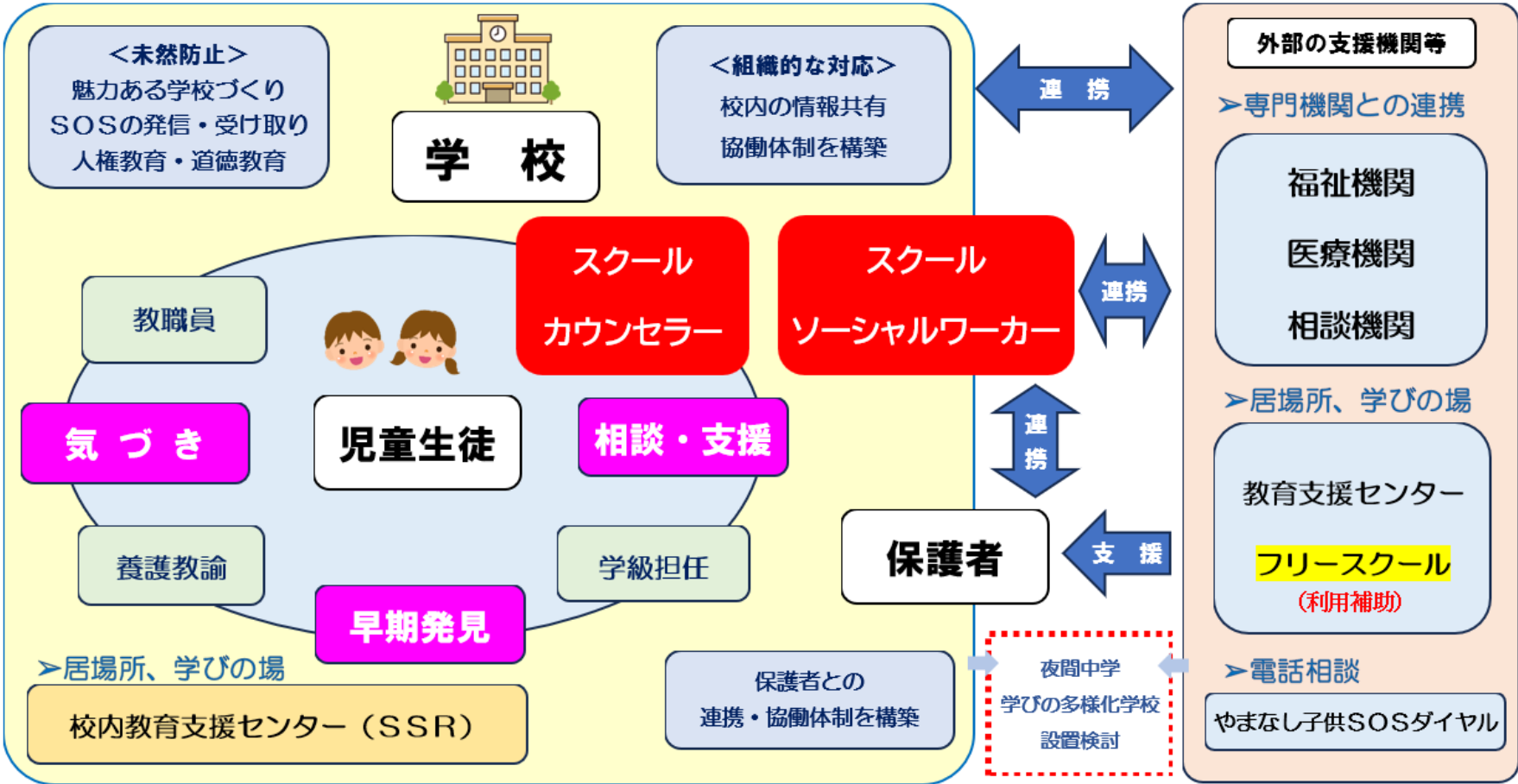
少人数教育のメリットを最大限に生かした**教育の質の向上**への取り組みを推進

- ・各教科等において、「**体験**」と「**対話**」を重視した**探究的な学び**を充実
- ・「総合的な学習の時間」では、教科横断的な視点に立ち、**算数・数学や理科の見方・考え**方を働かせた**文理融合**の学びをより一層推進
- ・**学術的な分析**による効果検証の精緻化

「総合知」を身に付けた自立した子どもの育成

中学校における少人数教育の在り方については、今後、丁寧に検討を進める予定

# 不登校支援に係る総合的な支援体制

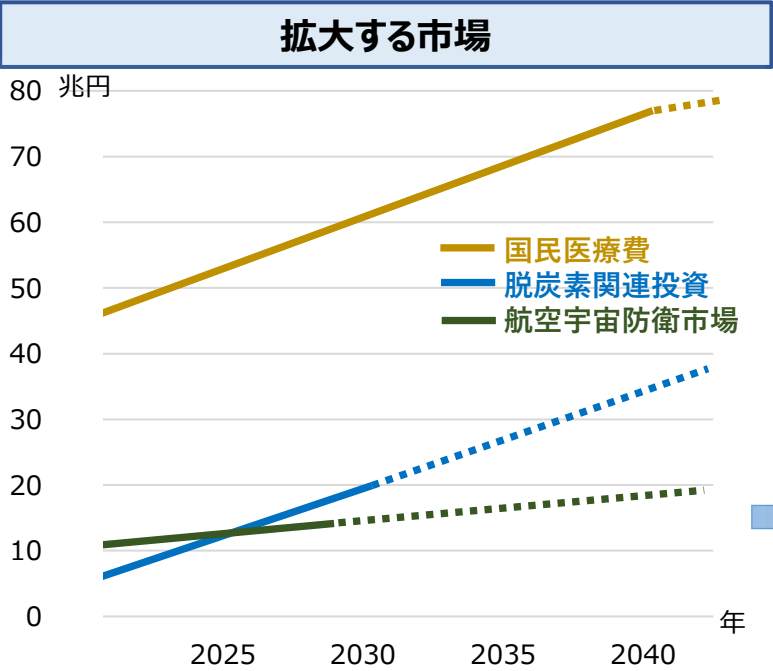


- 夜間中学・学びの多様な学校設置検討有識者会議を開催し、夜間中学・学びの多様な学校設置基本計画を検討（令和10年設置の方向性）
- スクールソーシャルワーカー、スクールカウンセラーの増員に向けて検討（令和7年度は人材養成研修を実施）
- フリースクール利用補助を開始（令和7年4月から開始）
- 県教委、市町村教委、フリースクール等の民間団体との連携を強化（令和7年度は、官民連携会議を開催）
- 不登校予防をはじめとする全庁的な不登校対策の検討に着手



# 本県経済を牽引する成長産業の育成

今後成長が期待される**医療機器**や**水素・燃料電池**関連産業、**航空宇宙防衛**関連産業を育成



国民医療費 ⇒ 医療機器関連産業

- 国民医療費は、**2040年度には78.3兆円**に達する見通し

脱炭素関連投資 ⇒ 水素・燃料電池関連産業

- 2030年までに官民で**総額100兆円**の投資

航空・宇宙・防衛市場

- 2029年度までに**13.6兆円**に達する見通し

県内機械電子産業の高い技術力

## 医療機器関連産業

- 部材供給を主軸に参入企業は**2倍以上**に
- 高付加価値な**医療機器**の製造受注も増加
- 更なる発展に向け、**米国展開**を促進

## 水素・燃料電池関連産業

- 研究開発拠点が集積した本県にカナデビアが立地  
⇒ **実証**から**実装**への移行が加速
- 普及の加速が期待される水電解装置の設置・保守等  
**周辺ビジネスへの参入支援**を強化し**産業の裾野拡大**

## 航空・宇宙・防衛関連産業

- 市場拡大を背景に部材供給**サプライヤーが不足**
- メーカーとの**マッチング**や県内企業の**相談支援**を強化  
⇒ **専門支援窓口**を新設

# 水素社会実現へ 本県のミッション

P2Gシステムを軸に **水素社会実現の中心（＝センター）** として世界をリード

**研究** Research & Development

世界最高水準の研究開発拠点が本県に集積



山梨大学  
水素・燃料電池ナノ材料研究センター



県産業技術センター  
(燃料電池の性能評価事業)



電力貯蔵技術研究サイト  
(P2Gシステムの実証拠点)



次世代エネルギー  
研究開発ビレッジ  
(Nesrad)

**実証** Demonstration

米倉山を中心にグリーン水素の  
サプライチェーンを構築  
…製造→貯蔵→輸送→利用  
一貫した社会実証を実施

**実装** Implementation

P2Gシステムによる  
地域水素の利活用モデル  
が拡大中



グリーン水素パーク - 白州 -  
(国内最大の  
グリーン水素製造能力・  
サントリー工場で活用)



国内初のP2G専門会社  
YHCの設立

## グリーン水素の「知の拠点」へ

- ✓ 国際水素サミットの開催
- ✓ 世界から集い、世界へ還元する人材育成

## 水素の地場産業化

- ✓ 部材供給・メンテナンス等の県内企業受注
- ✓ 経験と知見の蓄積による優位性の確立



**専門人材の育成**



**参入企業への伴走支援**



**産官学クラスターでの活動**



# 水素の地場産業化

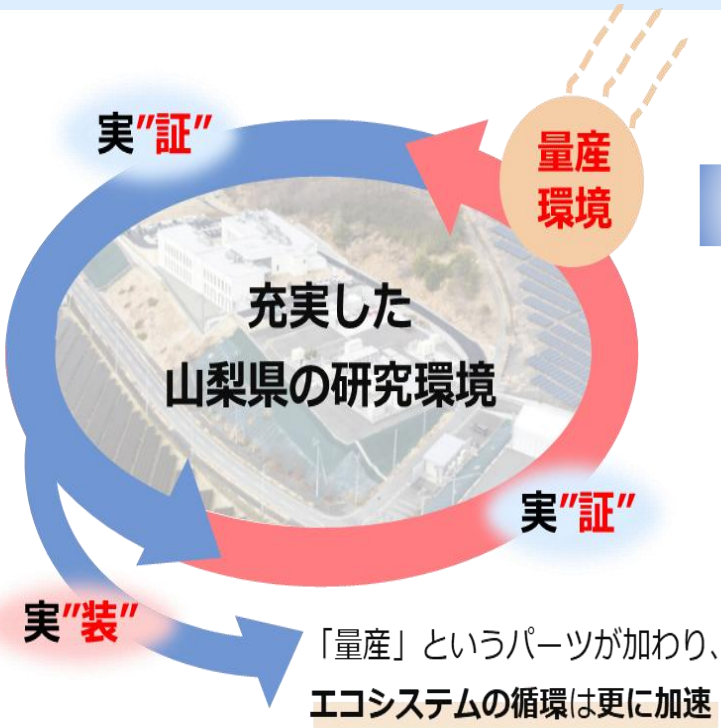
## 【カナデビア（株）の県内立地】

➤ P2Gの中核「**水電解スタック**」量産工場

- 建設地：都留市厚原地内
- 完成予定：2028年度末
- 従業員数：約100人（操業開始時）
- 投資額：約80億円



工場イメージ図



### 県内企業の大きなビジネスチャンス

- 部材・機器の供給
- 周辺機器の組み立て
- 保守・メンテナンス

### カナデビア(株) × 県内企業 戦略的パートナーシップ構築へ

- ✓ 製品試作や機材調達支援
- ✓ 製造～保守体制の構築支援

- 県内企業の受注獲得と成長を後押し
- 水素関連産業の振興と経済基盤の強化

# 水素版 ダボス会議の開催

## 富士ハイドロジェン・サミット 2026



意義

世界の実装現場の知見を共有し、次の行動を描くための国際対話の場

内容

- 世界各国の「**実装を阻む課題**」を産官学で持ち寄り**顕在化、主要論点の整理**
- **次の協働や検討につながる情報**の提示

開催場所

山梨県内

主な参加者

海外関係者

グリーン水素推進に強い意欲のある地方政府・企業・研究者

アメリカ

ドイツ

オーストリア

インド

ブラジル

ベトナム

韓国

etc

国内主要企業

脱炭素社会リーディングカンパニー

エネルギー電力分野・自動車輸送分野・製造業素材分野・不動産建設分野  
金融投資分野・農業食品分野・研究分野 等

行政機関

国会議員・関係省庁・水素分野を牽引する先進的な地方自治体

つまり

国際水素サミットはグリーン水素社会実装に関する「**知のプラットフォーム**」を目指す

さらに

**サミットを年次開催することで「水素版 ダボス会議」として**

**『山梨県 = 知の拠点』という国際的立ち位置を確立**

# 水素サミットの先に

## 水素サミット後の姿（イメージ）

### グリーン水素社会実装に関する「知のプラットフォーム」

山梨県が提供できる価値 1

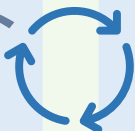
#### 国際標準化研究プロジェクト

山梨の実装知を基盤に、  
標準化・認証・安全指針の議論を  
国際的にリード

山梨県が提供できる価値 2

#### 人材育成プロジェクト

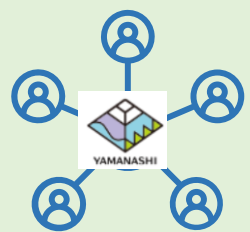
世界の学生や技術者の卵が集い、世界へ還元  
山梨県を主なフィールドとして、  
製造・輸送・利用を理解した「実装エンジニア」  
と「政策・ビジネス人材」を育成



知のプラットフォームでのプロジェクト推進の結果



### 目指す世界観



step1 国内外プレーヤー：山梨県のプラットフォームを積極的に活用

Step 2 水素実装事例の増加により、水素社会が進展

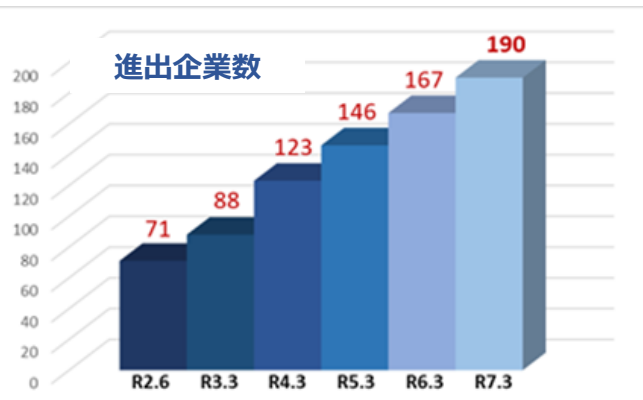
➤ 山梨県がグリーン水素の「知の拠点」へ  
つまり

山梨県がセンターとなり、世界の水素社会実装をリード



## 参入企業・投資案件の増加

手術支援ロボットや放射線治療装置など高付加価値な製造を受託する事例も複数創出 → 新工場建設も支援



## 令和2年6月～令和7年3月時点の実績



医療機器分野 : 190社  
進出企業数 (R2 : 71社)



相談件数:3,780件  
(R2:366件)



マッチング件数：1,348件  
(R2：41件)



成約件数：64件  
(R2：3件)

支援企業の生産額の伸びは約400億円



「梶の紹介で取引先が増えた。営業部隊がもう一つある感じた。」

「支援を受けながら取引先を増やして成長を目指したい。」

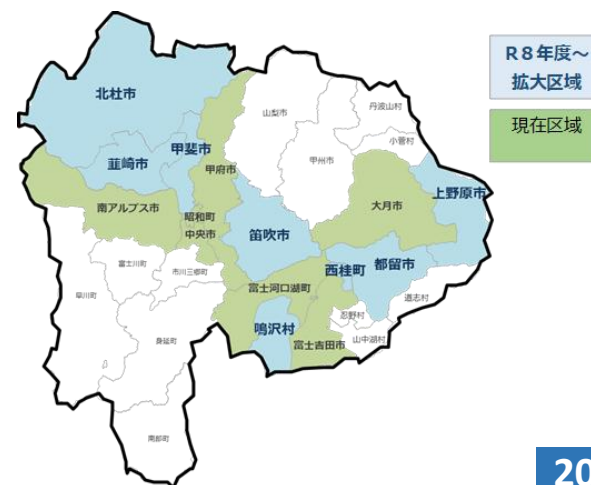
[日本經濟新聞 2025.11.12]

## 国からも高く評価

ふじのくに先端医療総合特区の区域拡大 ※R8.1 内閣府に申請  
静岡県と連携して、医療機器関連の企業の集積等を目指す特区を拡大  
〔現在：山梨 7市町 → R8年度～：山梨 15市町村（静岡 12市町村）〕

これまでの取組について、内閣府から高い評価  
→総合特区ライフ・イノベーション分野 **1位**

- ✓ **医療機器産業クラスターの形成を着実に進展**させている
- ✓ **他地域の模範**となる優れた取組





# 航空・宇宙・防衛関連の地場産業化

県内企業単独では接触が難しい大手メーカーとの商談機会を県が主導して設定

▶ **県内企業の技術力や県の取組をメーカーが高く評価**

- ✓ 「困難な技術課題を解決できたのは山梨県企業だけだった。」
- ✓ 「マッチングに行政がここまで関わってくれるのは他に例がない。」

## 部材供給から始め、将来的な大型案件の受注に向けた支援を展開

### やまなし航空・宇宙・防衛産業支援窓口

- ▶ コーディネーターの配置による マッチング支援  
県内企業の技術に精通したコーディネーターを配置
  - ✓ 県内企業の訪問を通じた伴走支援
  - ✓ 参入企業の掘り起こし

### ビジネスマッチングイベント参加支援

- ▶ 県内企業の技術力の発信や商談機会創出のため、ビジネスマッチングを目的とした展示会への出展を支援

### トップセミナー

- ▶ 参入への経営判断に必要な業界事情や商慣習、最新動向、参入事例などを伝えるセミナーを開催



### アドバイザー設置

- ▶ プライム企業のOB等をアドバイザーとして招聘し、県内企業の技術提案に係る助言、商談会出展に向けたアドバイス、県外企業のニーズ収集等、参入に向けたアドバイザー業務を実施



### 県内企業訪問ツアー

- ▶ 航空・宇宙・防衛関連のプライム企業や商社等に県内企業の技術力をPRするため、関係者を県内に招いて県内企業を訪問

### 国際認証取得支援

- ▶ 新規取引が円滑に進むよう、航空・宇宙産業で部品調達基準として採用されている国際認証の取得を支援

噴火時の住民・観光客の「逃げ遅れゼロ」を実現する！

## 1 避難体制の整備

### 国への要望

- 火山防災強化推進都道府県連盟の運営
- 火山噴火予知・対策推進議員連盟
- 広域避難体制の構築

### 人材育成

- 即戦力となる火山人材プログラム
- 火山防災職の専門性向上

### 現地対策本部の機能強化

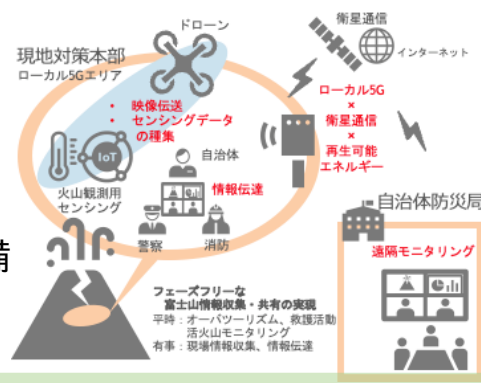
- 資機材、拠点、車両の整備

### 産業の創出

- 火山防災イノベーション  
ピッチコンテスト

### 情報伝達体制の整備

- 富士山への通信網の整備
- ローカル5G実証事業



## 2 防災計画の高度化



富士山降灰時における  
建物避難判断基準検討

← 建物の降灰に対する  
耐力検証調査

宝永噴火で埋もれた  
家屋の被害状況調査



大規模降灰ガイドラインの策定

地域防災計画・富士山火山避難基本計画等  
の見直し  
各種マニュアルの整備

- 市町村地域防災計画の改定支援
- 避難促進施設、市町村への支援、講習会の実施

## 3 地域の防災力の向上

### 富士山噴火のことを知ってもらう

- 火山防災の日イベント等各種啓発活動
- 県民の日イベント等

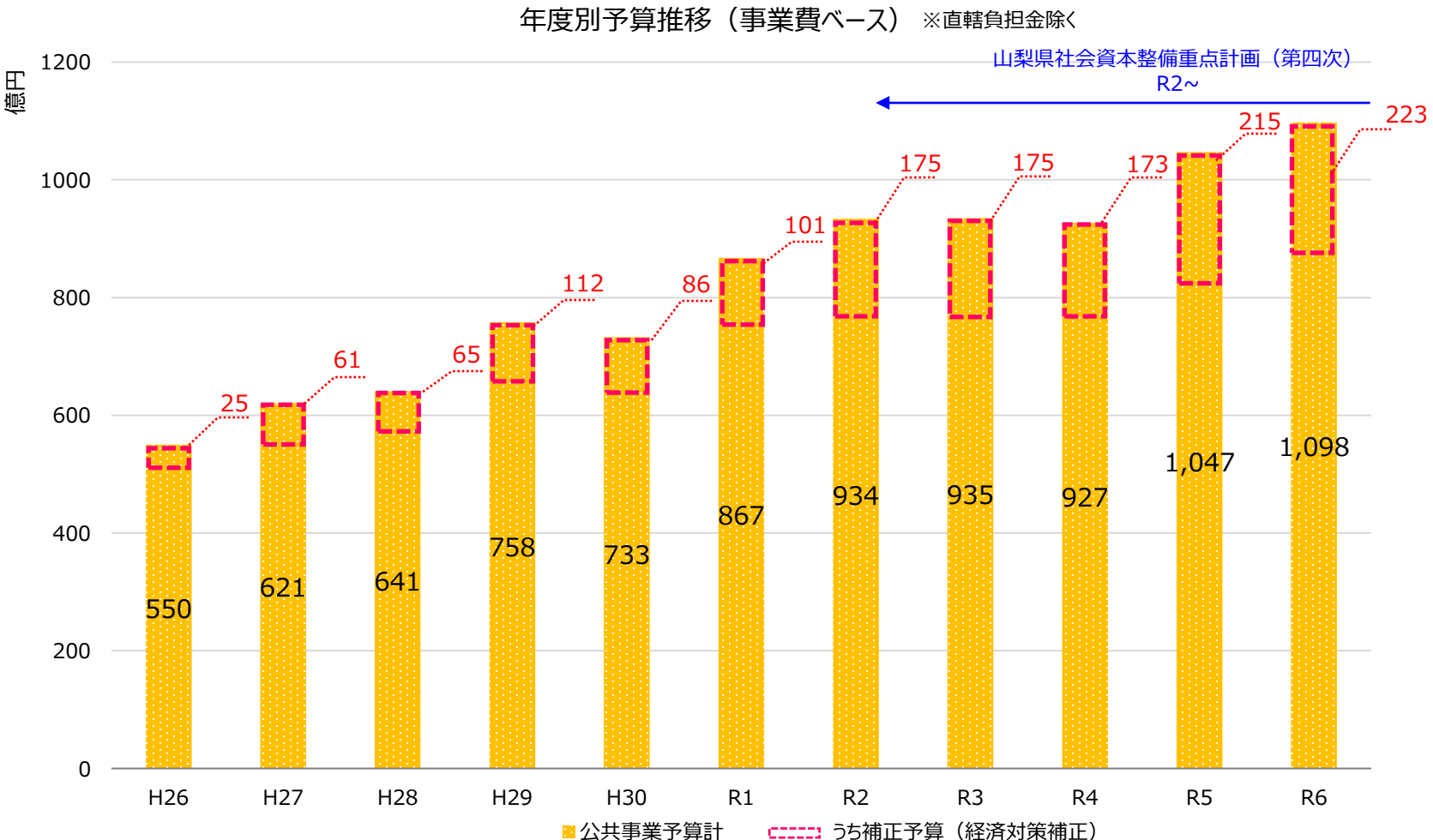
### 適切に避難してもらう

- 市町村住民参加型  
実動訓練の共同実施
- 動画(溶岩流から徒歩避難)  
やリーフレットの周知

現体制・計画の実効性の検証＝富士山噴火の訓練の実施

# 本県の公共事業関係予算

- 近年、本県の公共事業関係予算は着実に推移
- 山梨県社会資本整備重点計画（第四次）期間中の実績は約5,900億円／6年。計画上の想定事業量（4,600億円／6年）を大きく上回った



# 第4次・山梨県社会資本整備重点計画の成果の一例

計画期間：令和2年～令和7年

## 「いかす」やまなし 活力・快適

### ➤ 道路ネットワークの整備促進

- ・ 新山梨環状道路(東部Ⅰ期区間)の開通
- ・ (都)田富町敷島線(富竹1期工区)の開通

### ➤ 農地・農業用施設の整備促進

- ・ 農業生産基盤の整備完了 ⇒ 果樹園の再編整備等603ha



新山梨環状道路

## 「まもる」やまなし 防災・減災

### ➤ 道路防災対策の促進

- ・ 緊急輸送道路における橋長15m以上の橋梁の耐震化 ⇒ 99%完了
- ・ 法面防災工事による雨量規制路線の解除・緩和 ⇒ 国道413号ほか5路線7区間の規制解除・1路線緩和

### ➤ 河川・土砂災害対策等の促進

- ・ 河川整備の完了 ⇒ 鎌田川(甲府市・中央市)ほか3河川
- ・ 河川の伐木浚渫対策箇所 ⇒ 戸川(富士川町)ほか34箇所
- ・ 砂防施設整備の完了 ⇒ 戸倉川(笛吹市)ほか16箇所
- ・ 防災重点ため池の防災対策完了 ⇒ 五町田ため池ほか29箇所



鎌田川

## 「つなぐ」やまなし 長寿命化・持続可能

- ・ 橋梁長寿命化対策を推進し、「予防保全型」管理への移行

山梨県社会資本整備重点計画（第五次） 骨子案（概要）

目的	限られた財源の中で、社会資本整備を効果的かつ効率的に実施し、県民生活の安定と向上に寄与する。		
計画期間	5年間（令和8年度～令和12年度）	想定事業量	概ね 5,000 億円 ※今後の資材価格・人件費高騰等の影響については、適切に反映

現状と課題	<ul style="list-style-type: none"><li>○ <u>人口減少と急速な少子高齢化</u>により、<u>建設産業の将来における担い手不足</u>が深刻化するとともに、<u>地域のインフラを支える技術職員も不足</u>している。併せて、<u>インフラの老朽化が加速的に進行</u>しており、<u>地域社会が存続の危機</u>に瀕している。</li><li>○ また、<u>農業や林業</u>においても、<u>人口減少に伴う担い手不足</u>が深刻であり、<u>地域産業の持続・発展</u>のための取組が必要。</li><li>○ 一方で、<u>暮らし方・働き方やニーズが多様化</u>するとともに、賃上げと投資が牽引する<u>成長型経済への転換期</u>を迎えており、これを支える基盤整備が求められている。</li><li>○ 加えて、近年の気候変動に伴い、<u>自然災害が激甚化・頻発化</u>しており、短時間強雨や記録的な降雨・降雪、台風による水害や土砂災害はもとより、本県に甚大な被害をもたらすと想定される<u>南海トラフ地震</u>や<u>富士山噴火</u>への備えも必要となっている。</li><li>○ これらの課題に対応するためには、<u>人口減少社会に適応した持続可能な社会資本整備</u>の視点に加え、<u>環境面</u>（グリーン社会の実現）、<u>技術面</u>（新技術・DX）を踏まえた<u>横断的な視点と連携</u>が求められる。</li></ul>		
-------	--	--	--

重点分野・目指すべき社会像

社会資本整備から目指す！県民一人ひとりのウェルビーイングの実現 ～活力があり快適で、安全安心なやまなしを未来へつなぐ～	
--	--

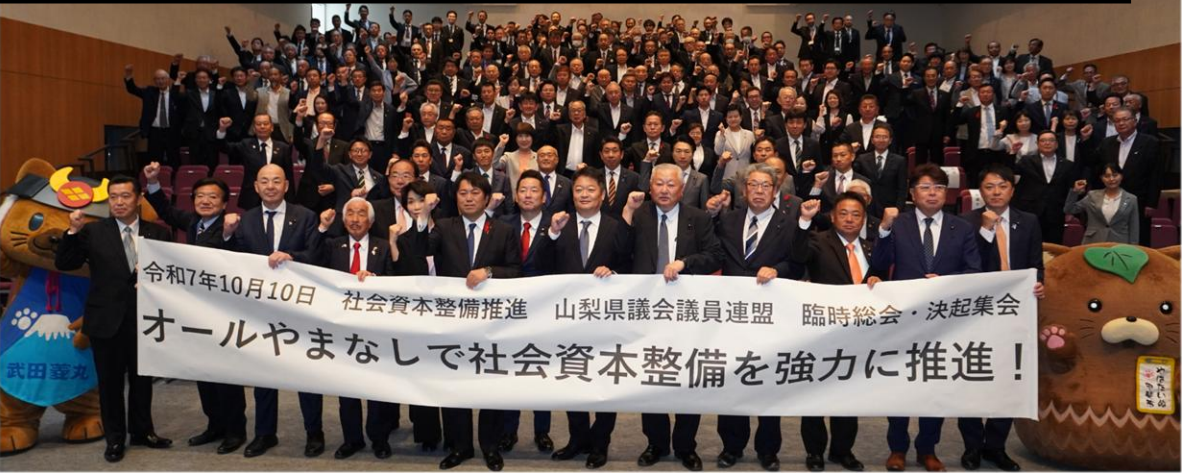
<p>「始まる山梨」</p> <p>活力成長</p> <ul style="list-style-type: none"><li>○ 他圏域及び県内拠点間の連携強化</li><li>○ 地域観光資源の利活用</li><li>○ 効率的な林業の施業、農業競争力の強化 ほか</li></ul> <p>目指すべき社会像</p> <p>交通ネットワークや山梨の持つ豊かな自然を活かし、活力があり、人々の活動と地域の成長がはじまる社会が構築される。</p>	<p>「守る山梨」</p> <p>防災減災</p> <ul style="list-style-type: none"><li>○ 流域治水の推進</li><li>○ 自然災害からの生命・財産の保護</li><li>○ 地域防災力の強化 ほか</li></ul> <p>目指すべき社会像</p> <p>地域全体で防災・減災に取り組み、災害への備えも整い、県民の生命と財産がまもられ、安心して生活できる社会が構築される。</p>	<p>「繋げる山梨」</p> <p>持続スマート</p> <ul style="list-style-type: none"><li>○ 持続可能なまちづくり</li><li>○ 将来像を踏まえたインフラの再構築</li><li>○ インフラ整備を支える基盤の強化 ほか</li></ul> <p>目指すべき社会像</p> <p>インフラが適切に機能するなど、まちをあるべき姿で未来へつなげ、人口減少社会に適応した持続可能かつスマートな社会が構築される。</p>
--	---	---

社会資本整備を効率的に進めるための施策 （環境面（グリーン社会の実現）・技術面（新技術・DXの活用）・官民連携・地域住民の参画 ほか）
--



# オールやまなしで社会資本整備を強力に推進

令和7年10月10日 社会資本整備推進 山梨県議会議員連盟 臨時総会・決起集会  
〔甲斐市敷島総合文化会館〕



令和7年11月25日 片山 さつき 財務大臣



令和7年7月1日 加藤 勝信 財務大臣



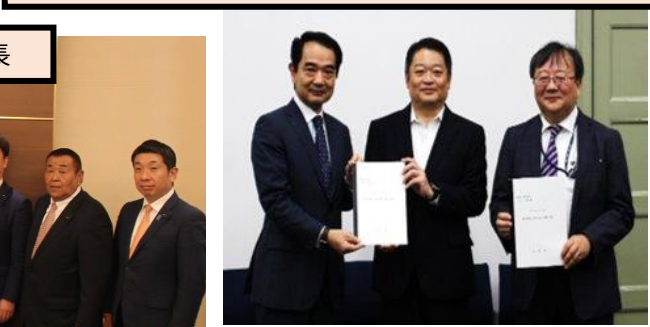
令和7年11月28日 牧野 たかお 国土強靱化担当大臣



令和7年4月28日 坂井 学 国土強靱化担当大臣



令和7年5月28日 財務省 宇波主計局長・中山主計局次長



令和7年11月25日 鈴木 俊一 自由民主党 幹事長



令和7年11月29日 小林 鷹之 自由民主党 政務調査会長

